

学 校 だ よ り



俣 野

横浜市立俣野小学校
平成28年 9月号

電話：045-852-4311/FAX:045-853-0614

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/scn/es/matano/>

お帰りなさい！また、みんなで楽しい学校生活を送りましょう。

校 長 山崎 浩一郎

40日間の長い夏休みが終わり、子どもたちが学校に帰ってきました。

7月中は、「わっしょい俣野2016」の楽しいお祭りに始まり、水泳教室に励んだ子どもたちも大勢いました。7月28日（木）に本校を会場にして行われた区の水泳大会では、みんな自分のもっている力を十分に発揮することができました。また、6年生の濱田陸玖さんが横浜市の水泳大会に参加し、50m平泳ぎで自己ベスト記録を出すことができました。

8月に入り、例年になく猛暑の日々が続きましたが、ご家族で、またお友達と遊んだり、出かけたりした人も多かったと思います。新しい発見や感動を味わったことでしょう。

感動と言えば、ブラジルリオデジャネイロでのオリンピックでは、日本人選手だけでなく、世界の選手の頑張りが大きな感動を与えてくれました。4年に一度の大会ですが、その舞台に立つまでの並々ならぬ努力とそれを支える多くの人々のドラマなども紹介されていました。選手たちのインタビューを聞くと、必ずと言っていいくらい、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを口にしていました。一番努力したのは、本人に違いないのですが、改めて人は、一人で生きているわけではなく、周りの人とかかわりながら成長しているんだと感じました。

先日、「私の水泳人生 ～オリンピックから得たこと～」と題して、東京スイミングセンターに勤務する中村 礼子先生のお話を聞く機会がありました。中村選手は、アテネ五輪と北京五輪において競泳200m背泳ぎで銅メダルに輝いたスイマーです。今は、子育てをしながら、子どもたちへの水泳指導を主にしているそうです。横浜市出身ということもあり、横浜の小学校を訪問して、お話をすることもあり、水泳を通して学んだこと、小学生に伝えたいことなどを熱心に語ってくださいました。

<子どもたちに伝えたいこと>

中村 礼子先生からのメッセージ

○チャレンジしてみよう ○続けてみよう ○楽しいと思うこと ○悔しいと思うこと

何でもいいので、自分の夢に向かって、まずは一歩踏み出し、チャレンジしてみよう、そして、すぐにやめるのではなく、ちょっと続けてみてください。続ける中で、「楽しい」と思うことで続けることができると思います。そして、「悔しいと思うこと」もとても大切だと思います。自分の夢がかなわないとき、思い通りにいかないとき、必ず悔しいという経験をするとと思いますが、それであきらめてしまっただけでは、次につながりません。「ああ、悔しい。次がんばろう」と思えるかどうかです。がんばるということは、もうダメだと思った時が、始まりです。「夢はかなったらいいな」ではなく、「絶対にかなえるんだ」と思うことが大切だと思います。

9月からは、学校の統合に向け、深谷台小や大正小に出向いての交流も行われます。多くの人と出会い、運動やスポーツだけでなく、様々なかかわり合いの中から、友達を増やし、刺激し合いながら自分の目指すもの、自分の夢を見つけてほしいと願っています。チャレンジしてみましよう。